

水通信



第162号
平成30年
11月29日
発行



「水通信」は、水資源機構全体や中部管内における取り組みに関する情報を、中部管内の関係者（関係県、関係市町村、関係土地改良区、およびその他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。

目次

☆【[巻頭言](#)】

- 長良川河口堰管理所長 武田 浩一

☆【[中部管内水源情報](#)】

☆【[新着情報](#)】

[中部支社](#)

- もしもに備えるために。津波・防災訓練を実施

[豊川用水](#)

- 大島ダム・ウォークを開催しました

[木曽川水系連絡導水路](#)

- 「長良川を美しくしよう運動」。日本三大清流の次世代へ

[愛知用水](#)

- 「東郷町文化産業まつり」で愛知用水をPR
- 「八百津町産業文化祭」で愛知用水をPR
- おんたけ湖ハーフマラソンが開催されました

[木曽川用水](#)

- 木曽川クリーン作戦！全校児童が堤防清掃を行いました

[岩屋ダム](#)

- 岩屋ダム秋から冬へ

[阿木川ダム](#)

- 地域活性化を目指したイベントでPR活動等を行いました
- 地元高校生の職場体験（インターンシップ）を実施しました

[徳山ダム](#)

- 徳山湖自然風景撮影会と風景写真撮影ツアーを開催しました
- 実のなる木を植えよう大作戦について
- いびがわマラソン開催されました

[長良川河口堰](#)

- 水郷フェスタ2018で河口堰の生物を紹介

[味噌川ダム](#)

- 第60回木曾川源流村内一周駅伝大会に参加しました

[三重用水](#)

- 菰野調整池堤体がコースの「秋のウォーキング大会」
- 堆肥に再利用はいかが？菰野調整池の刈草を無料配布

☆ [イベントカレンダー](#)

- 平成30年12月

☆ [編集後記](#)

- 担当課 中部支社事業部水管理・防災課

巻頭言

【長良川河口堰管理所長 武田 浩一】

本年4月に長良川河口堰管理所長に着任しました武田でございます。どうぞよろしくお願い致します。

河口堰の流域では、今年の1月～9月に流域平均雨量で2,890mmの降水量が観測されました。この数値は、河口堰の管理を開始した平成7年から平成29年までの平均値の1.4倍を超えています。また、西日本豪雨が発生した7月、台風21号と台風24号が上陸した9月では、それぞれ例年の1.7倍、2.0倍の降雨がありました。7月8日には、上流での豪雨により堰地点流入量が管理開始以降第2位の約6,000m³/s（速報値）に達しました。

さらに、台風21号及び台風24号では、高潮の影響により堰下流水位は管理開始以降最高値を2度更新しました。

これらの状況は地球温暖化による影響も考えられますが、地域の皆様の安全・安心を維持するために施設を適切に運用するとともに、関係する皆様には、各種情報を適切なタイミングでわかり易くお伝えする所存ですので、引き続きよろしくお願い致します。

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける11月29日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曾川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の11月降雨量は平年を下回る状況（平年比17%～38%）ですが、4ダム合計の貯水率は90%（平年比101%）と、平年と同程度の貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの11月降雨量も平年を下回る状況（平年比32%～51%）ですが、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は87%（平年比104%）と平年と同程度の貯水状況となっています。

木曾川水系及び豊川水系では、少雨による河川流量の減少に伴い利水補給を継続しており、各ダムの貯水量は低下を続けています。

中部管内各ダムにおける11月の降雨（平年比）及び利水貯水率（11月29日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	18	38	20	17	32	51	46	43
利水貯水率	79.1	90.6	96.6	97.5	85.6	91.6	84.7	100

- ・ 中部支社管内の各ダム貯水状況等は、中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。
中部支社HP <http://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

- ◆リアルタイム情報 <http://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

- ◆中部管内の水源状況（平日更新） <http://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

- ◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

http://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessui_jyouthou29-1.html

新着情報

中部支社

○ もしものに備えるために。津波・防災訓練を実施

11月5日は「津波防災の日」であることから、中部支社では11月2日（金）に地震津波に関する防災意識の向上のための講習会を実施しました。

講習には、職員29名が参加し、中部管内で特に津波発生時に大きな被害が予測される長良川河口堰管理所、木曽川用水総合管理所、豊川用水総合事業部の3事業所の状況及び各事業所への指示伝達等、支社としての対応を確認しました。

また、関連して支社に勤務する全員を対象としてメールによる安否確認訓練を実施しました。

地震津波は予測が困難な災害の一つです。日頃の訓練はもちろんのこと、防災の意識を常に持つことも対策につながります。高い意識を持って万が一に備えていきましょう。



■ 中部支社で行われた講習の様子

豊川用水総合事業部

○ 大島ダム・ウォークを開催しました

11月10日（土）、第9回大島ダム・ウォークを開催しました。前日までの雨の影響で開催が危ぶまれたものの、当日には雨が止み、地元の新城市だけでなく県内外からの多くの方が訪れました。

今回のダム・ウォークは、今年平成30年で豊川用水が通水50周年を迎えたことから、通水50周年に関連したクイズラリーを実施。参加した皆さんは、クイズを通して豊川用水の理解が深まったようでした。



■ ダム・ウォーク開催当日の大島ダム



■ 県内外から参加者が集合

また前回から参加者には、記念として缶バッジのプレゼントしていますが、さらに思い出を取り入れた缶バッジも作ってもらおうと、会場イベント広場に設置した缶バッジ作成コーナーを設置しました。参加者は思い思いの缶バッジを作成し、満足気な表情で帰って行かれました。

豊川用水総合事業部では、今回いただいたアンケートのご意見等をもとに、より充実のダム・ウォークを企画・運営していきます。



■通水 50 周年記念のダム・ウォーク



■職員の案内でバックヤード見学

木曽川水系連絡導水路建設所

○ 「長良川を美しくしよう運動」に参加しました

10月28日（日）、岐阜新聞社・岐阜放送主催で、今年度第3回目（今年度最終）の「長良川を美しくしよう運動」の清掃活動が実施され、当建設所も参加しました。

鵜飼大橋から忠節橋までの間の河川敷約4キロの区間を朝早くから70団体、約2100人が一斉に清掃に取り組みました。



■早朝から長良川の河川敷約4キロを清掃



■回収したゴミと記念写真

愛知用水総合管理所

○ 「東郷町文化産業まつり」で愛知用水をPR

11月11日（日）、東郷町文化産業まつり開催委員会が主催する「第36回東郷町文化産業まつり」が東郷町イーストプラザいこまい館を中心とする会場において、開催されました。

当管理所では愛知用水のPRとして、パネル展示、牧尾ダムの流木の無料配布を行いました。この流木配布を楽しみにしていた方も多く、好評のうちに終了しました。

（詳細はこちら）

[http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/e\(tayori\)/20181115\(to-go-tyousanngyoumaturi\)/01.html](http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/e(tayori)/20181115(to-go-tyousanngyoumaturi)/01.html)

○ 「八百津町産業文化祭」で愛知用水をPR

11月10（土）～11日（日）、岐阜県加茂郡八百津町ファミリーセンター特設会場において、八百津町産業文化祭実行委員会主催の「第39回八百津町産業文化祭」が開催されました。

当管理所では11日に愛知用水のPRとして、パネル展示、水の重さをびったり802（やおつ）gに計る催しや間伐材を使った木工工作を行いました。

参加者は、手作りのメダルやコースターを手に、楽しそうに帰っていかれました。



■ 木工品作りを楽しむ参加者

（詳細はこちら）

[http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/top/rireki/01new/20181111\(yaotutyo-sangyo-bunkasai\).pdf](http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/top/rireki/01new/20181111(yaotutyo-sangyo-bunkasai).pdf)

○ おんたけ湖ハーフマラソンが開催されました

10月28日、王滝村イベント実行委員会主催による「第8回おんたけ湖ハーフマラソン」が開催されました。この大会は、愛知用水通水50周年（平成23年）を記念して始まったもので、1,154名のランナーが、爽やかな秋空のもと、ハーフ、10km、5kmの3コースを男女また年代別に分かれ、紅葉に彩られた御嶽山麓を元気に走り抜けました。

（詳細はこちら）

[http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/top/rireki/01new/20181028\(ontake-ha-fumarason\).pdf](http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/top/rireki/01new/20181028(ontake-ha-fumarason).pdf)

木曾川用水総合管理所

○ 木曾川クリーン作戦！全校児童が堤防清掃を行いました

10月29日（月）木曾川大堰下流の左岸堤防において、稲沢市立長岡小学校全校児童134人、保護者14人、機構職員14人により木曾川クリーン作戦を行いました。

同校では、平成26年から「木曾川の美化及び清掃活動」を行っており、今年は5月の6年生から順に学年毎に堤防清掃を取り組み、当日は、全校生徒による清掃活動となりました。

日頃の清掃活動の成果か、回収されたゴミは少なくなっていますが、それでも約20kgゴミを回収しました。中には大きなゴミもあり、児童は力を合わせて小学校までゴミを運び処分を行いました。

機構では、引き続き長岡小学校の清掃活動のお手伝いを通じて、子どもたちが木曾川に愛着をもってもらえるよう努めていきます。



■ 長岡小学校の児童を前に挨拶



■ 木曾川大堰下流左岸堤防を大清掃

岩屋ダム管理所

○ 岩屋ダムの秋から冬へ

秋といえば何を思い浮かべますか？「食欲の秋」、「行楽の秋」、「スポーツの秋」など、様々な秋がありますが、ダム周辺にいるとやはり「紅葉の秋」が思い浮かびます。

岩屋ダムでは今年も木々が色づき、美しい秋の景色を見せてくれました。今秋は、景色を眺めながらハイキング・サイクリングをする人、紅葉の下で食事をする人など、思い思いのスタイルで岩屋の秋を楽しむ人を見かけました。

春と秋、同じような気温であっても、桜を中心に淡い色の多かった春とは違い、秋は赤色や黄色、焦げ茶色などの鮮やかな色に囲まれます。春とは違った風情が楽しめるのも山深い岩屋の魅力なのかもしれません。

12月に入り岩屋も冬の季節を迎えます。雪が積もると、今度は白くお化粧をした幻想的な岩屋ダムを見ることができます。

温泉が恋しくなるこれからの季節。下呂市にお越しの際には、冬の岩屋ダムにも是非お立ち寄り下さい。



■秋が終わる



■冬が始まる

阿木川ダム管理所

○ 地域活性化を目指したイベントでPR活動等を行いました。

10月から11月にかけて阿木川ダム周辺の市町村で地域活性化を目指した様々なイベントが催されました。阿木川ダム管理所では、ダムの果たす役割、水資源機構の仕事を地元の人にも知ってもらいたいと、様々なイベントに出展し、PRに努めました。

①健康福祉まつり

10月14日（日）に、中津川市において、市民一人ひとりが「健康・医療・福祉」の大切さを体験、実感し、市民がいきいきと輝くことを目的とした「健康福祉まつり」が開催され、当管理所もブース出展をしました。

健康福祉まつりという趣旨から、阿木川ダムでは、安全に周回できるダム湖でのウォーキングを提案しました。

恵那市が一望できるロケーション、自然を満喫することができるコースなど、健康増進だけでなく、癒やし場ともなる阿木川ダム湖の魅力のPRに努めました。



■ダム湖のウォーキングを提案する職員

②えな環境フェア

10月27日（土）、恵那市が主催する「えな環境フェア」に出展しました。ブースでは、阿木川ダム湖に生息する植物プランクトンを実際に顕微鏡で観察してもらい、水質保全に取り組む阿木川ダム管理所の役割についてPRしました。



■顕微鏡でプランクトンを確認

メモリアルマーチ

11月3日（土）には、毎年恒例の明知鉄道などの地元企業が主催するメモリアルマーチが開催されました。

秋晴れの中、約160名の参加者が、恵那市役所を出発し、途中、阿木川ダム堤体斜面を歩いて登り、最終目的地である明知鉄道岩村駅までを踏破しました。コースに管理施設内の利用（登山）が組みこまれていることから、事前準備で安全ルートを設置し、当日は、ダム堤体下流面のところどころに誘導員を配置し、登山者の安全確保に努めました。



■難所の阿木川ダム堤体斜面

○ 地元高校生の職場体験（インターンシップ）を実施しました

10月10日（水）から12日（金）にかけて、地元高校生（恵那農業高等学校、中津川工業高等学校）7名の職場体験を実施しました。

3日間で、ダム堤体観測、電気・機械設備点検、貯水池周辺・湖面巡視、ドローン操作訓練、水質調査など、常日頃職員が行っている業務を体験してもらい、最終日には、その体験からの報告会が行われました。

阿木川ダムは、目にしているけれど、役割については知らなかったインターンたちも、全体を目にすることにより、機構の仕事の理解が深まったようでした。



■阿木川堤体の観測状況



■職場体験のまとめ、報告会

徳山ダム管理所

○ 徳山湖自然風景撮影会と風景写真撮影ツアーを開催しました

10月31日（水）、揖斐川町と共催で、「徳山湖自然風景写真撮影会」を開催しました。

この撮影会は、豊かな自然環境に包まれた徳山湖周辺の美しい風景を船上から撮り、揖斐川町の魅力と美しい自然環境保全の取り組みのPRにつながれば、と開催されたものです。

また民間旅行会社が企画したプロカメラマンと行く「徳山湖紅葉写真撮影と徳山ダム見学ツアー」も催行され、どちらも満員の盛況ぶりでした。

徳山湖の紅葉は、写真愛好家の間で、話題になっているようです。



■徳山湖の魅力をカメラに

○ 実のなる木を植えよう大作戦について

11月3日（土）、徳山ダム建設で必要だったダム堤体の土の材料山（コア山）で「実のなる木を植えよう大作戦」が開催されました。

この植樹活動は、徳山ダム建設当時から毎年秋に継続して開催しており、今年で18回目を迎えた今年も、晴天にも恵まれ、山の緑が次第に回復しているのがわかりました。

地元のお子さんから大人まで、心地よい汗をかきながら、大きく育てと願いをこめて、苗木を植えていました。



■大きく育てと願いをこめて



■18回目を迎えた大作戦

○ いびがわマラソン開催されました

11月11日（日）、ランナーに人気の「いびがわマラソン」が素晴らしい晴天のもと開催され、全国から訪れた約1万人が、紅葉に彩られた揖斐川沿いのマラソンコースを駆け抜けていきました。

会場に設けられた徳山ダム管理所の出展ブースでは、徳山ダム周辺で展開されるEボート体験、堤体登坂ツアー、サイクリングなどのアクティビティを紹介し、PRに努めました。

ランナーをはじめ、ブースを訪れた方たちは、自然の中で楽しめるアウトドアの多さに関心を持たれたようでした。



■人気のいびがわマラソン



■徳山ダム管理所の出展ブース

長良川河口堰管理所

○ 水郷フェスタ2018で河口堰の生物を紹介

10月21日(日)、桑名市長島町にある国営木曾三川公園カルチャービレッジと輪中の郷で開催された「水郷フェスタ2018」に参加しました。

水郷フェスタは、毎年開催される桑名市を代表するイベントで、地元の中学生の和太鼓演奏会や地元のおいしい食べ物が勢ぞろいする『桑名旨いもんまつり×モルタンマルシェ』、フリーマーケット等、家族や友達同士で楽しめる催しが盛りだくさん。私たちも、長良川河口堰の役割をPRすべく、出展しました。水機構ブースでは、河口堰に生息する生物に触れられる場を設けるとともに、長良川河口堰の役割を説明するポスターを展示しました。7時間の開催時間で、90名のアンケート協力を得ることもできました。

当日は、秋晴れの好天に恵まれ、多くの人とふれ合えるイベントの出展に手応えを感じました。

来年も「水郷フェスタ」に参加し、河口堰の役割のPRに努めたいと思います。先の話ですが、お近くにお越しの際は、お立ち寄りください。



■河口堰の役割をポスターで紹介

味噌川ダム管理所

○ 第60回木曾川源流村内一周駅伝大会に参加しました

秋晴れの11月3日(土)、味噌川ダムのある木祖村で、恒例の「木曾川源流村内一周駅伝大会」が開催され、今年も我が「味噌川ダムチーム」がエントリーしました。

さらに今大会には、水資源機構中部支社チームの参戦もあり、2チームとも気合い十分で大会に臨みました。

駅伝には、木祖村一周約18キロを5区間で走る第一部に28チーム、10区間で走る第二部に4チームがエントリーし、味噌川ダムチームは、第一部に出場。5人でタスキをつなぎゴールを目指しました。

レースは、午前10時に、吉田林業会館前からスタート。スタート当初からハイピッチで走る選手を味噌川ダムが追う展開となりましたが、沿道で小旗を振って応援してくれる村の人々の姿に励まされ、第一走者から第二走者へ、第二走者から第三走者へと、アンカーの第五走者まで、タスキをつなぐことができました。



■味噌川ダムと中部支社の2チーム

水資源機構もこの駅伝のように、上流の水源から下流のユーザーまで、水の安全と安心、そして信頼のタスキをつなげられるよう、これからも頑張ります。

三重用水管理所

○ 菰野調整池堤体がコースの「秋のウォーキング大会」

10月27日（土）、今年もまた菰野町健康ウォーキングイベント「秋のウォーキング大会」が開催されました。

心配された雨も夜明けとともに上がり、当日はまさに絶好のウォーキング日和。

参加者は、5キロのショートコース、10キロのロングコースに分かれ、完歩を目指し菰野町役場西玄関前をスタートしました。

10kmのロングコースには、菰野調整池（きらら湖）の堤体がコースに取り入れられ、水面に映った秋の風景は参加者の目を楽しませていたようでした。

大会には、約150人の愛好家が参加し、爽やかな汗を流していました。



■ 菰野調整池堤体を歩く参加者

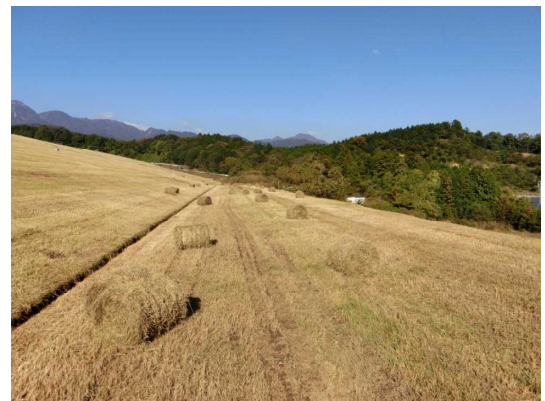
○ 堆肥に再利用はいかが？菰野調整池の刈草を無料配布

三重用水管理所では、毎年ダム堤体の除草作業を行っており、大量の刈草が発生します。

実はこの刈草は、その昔、畑等で敷き草や堆肥として使われてきた伝統的な資源。特に刈草の堆肥は、有機栽培に欠かせない、と言われていました。

この刈草を多くの方に有効利用していただけたら、と無料で配布する取組みを行っています。

今年もまた多くの刈草ロールが出来上がりました。使ってみたい方、またご入り用の方は、三重用水管理所までご連絡下さい。



■ 敷き草や堆肥に用途が高い刈草ロール

*お申し込み・お問い合わせ先

TEL 059-393-2000

イベントカレンダー

中部管内関連のイベントカレンダー

【平成30年12月】

日	曜	機構イベント	地域のイベント
16	日		愛知池ハーフマラソン&ファミリーラン大会
27	木	「水通信」配信予定	
28	金	仕事納め	

編集後記

【中部支社担当課：中部支社事業部水管理・防災課】

今年も余すところ一ヶ月となり、テレビでは、今年を振りかえる特集が放送されるようになりました。それに加え、来年5月に新天皇が誕生し元号が変わることから、平成最後のクリスマス、平成最後の年末、平成最後の年の漢字一文字と、例年にもまして慌ただしさが増しているように感じます。

子どもの頃、「先生（師）も走るほど忙しい月だから師走」、と覚えましたが、師走の語源は数あり、「年が果てる」という意味の「年果つ（としはつ）」が変化したという説。「四季の果てる月」を意味する「四極（しはつ）」からとする説。「一年の最後になし終える」意味の「為果つ（しはつ）」から、という説があるそうです。いずれにしても果つ、終わるという意味は同じ。平成最後の師走が事故もなく、無事に果てることができますよう、気をひきしめて業務に邁進したいと思えます。



今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

mailto:chubu_water@water.go.jp

*** 『第163号は、12月下旬に発行する予定です。』 ***

☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社：	http://www.water.go.jp/chubu/chubu/
豊川用水総合事業部：	http://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/
木曽川水系連絡導水路建設所：	http://www.water.go.jp/chubu/kisodo/
愛知用水総合管理所：	http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/
木曽川用水総合管理所：	http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/
岩屋ダム管理所：	http://www.water.go.jp/chubu/iwaya/
阿木川ダム管理所：	http://www.water.go.jp/chubu/agigawa/
徳山ダム管理所：	http://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/
長良川河口堰管理所：	http://www.water.go.jp/chubu/nagara/
味噌川ダム管理所：	http://www.water.go.jp/chubu/misogawa/
三重用水管理所：	http://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/

発行者：水資源機構中部支社